

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公開番号】特開2005-217152(P2005-217152A)

【公開日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2004-21476(P2004-21476)

【国際特許分類】

H 01 L 29/739 (2006.01)

H 01 L 29/78 (2006.01)

H 01 L 29/06 (2006.01)

【F I】

H 01 L 29/78 6 5 5 F

H 01 L 29/78 6 5 2 P

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月26日(2006.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項15】

請求項12または請求項13に記載の半導体装置であって、

前記多段の逆接続ダイオードにおいて、前記幅方向に突出した部分の形状は、平面視で扇形である

ことを特徴とする半導体装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

図29は、逆接続ダイオード31の幅が広い部分の、当該幅の方向に突出した部分の形状の例を示す図である。逆接続ダイオード31の幅の方向に突出した部分の形状は、ガードリング30aとガードリング30bの間の領域の形状に合わせて、図29(a)のよう^にテー^ーパー状にするとよい。あるいは、図29(b)のよう^にガードリング30aの形状に合わせた扇形にしてもよい。図29(a)、図29(b)いずれの場合も、各ダイオードが平面視で前記ガードリングと略平行に配置されるので、フィールドプレートとして適切な電位分布が得られる。